

教科 理 科

科目	生物基礎	学年・コース	1 学年	コース	単位数	2 単位	区分	必修			
学習の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察実験などの技能を身につける。										
教科書	高校生物基礎（実教出版）										
補助教材等	新課程版 ネオバルノート 生物基礎（第一学習社）										
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間			
1 学 期	4	第1章 生物の特徴			<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様な面と共通性について理解する。 生物の共通性と起源の関係を理解する。 生命活動にエネルギーが必要であること、ATPとの関係を理解する。 ATPの生産と消費、エネルギーの流れについて理解する。 遺伝子情報を担う物質であるDNAの特徴を見いだしてりかいます。 	4					
	5	1 生物の多様性と共通性									
	6	2 生物とエネルギー									
	6	3 光合成と呼吸									
2 学 期	7	第2章 遺伝子とその働き			<ul style="list-style-type: none"> DNAの塩基配列や相補性、複製を理解する。 遺伝情報の発現に関する資料から、DNAとアミノ酸配列との関係を理解する。 遺伝情報の発現と細胞の分化の関係について理解する。 体内環境の維持と体液の関係を理解する。 ヒトの体液の構成とはたらきを理解する。 腎臓と肝臓のはたらきと構造を理解する。 体内環境の維持とホルモンのはたらきの関係を見いだし理解する。 異物を排除する防衛機構が備わっていることその仕組みをりかいます。 	4					
	8	1 遺伝子の本体									
	9	2 DNAの構造と遺伝情報									
	10	3 遺伝情報とタンパク質の合成									
	6	4 遺伝情報の分配と細胞の分化									
	11	第3章 ヒトのからだの調節									
	4	1 体内環境と恒常性									
	4	2 体液の調節									
	4	3 自律神経系と内分泌系による調節									
	4	4 免疫									
	3 学 期	1	第4章 生物の多様性と生態系					<ul style="list-style-type: none"> 様々な植生と遷移を関連づけてりかいます。 遷移の仕組みについて理解する。 世界のバイオームとその特徴を理解する。 日本のバイオームと世界のバイオームを比較しその違いを理解する。 生態系における生物の役割、関係性について理解する。 窒素、炭素の循環について理解する。 生態系のバランスと攪乱を関係づけて理解する。 	4		
		4	1 生態系とその成り立ち								
4		2 植生とバイオーム									
4		3 生態系と生物の多様性									
4	4 生態系のバランスと保全										

評価の観点	知識・技能	生物や生物現象からその体の構造や仕組み、他の生物との関係性を見いだし、多様な生物により生態系が成り立っていることを理解できたか。
	思考・判断・表現	実験結果やグラフ・データをもとに自分で考察を行うことができたか。
	主体的に学習に取り組む態度	自然に対する探究心を高め、意欲的に探究をすることができたか。